

令和 7 年度 個人住民税徴収対策本部会議の開催概要

日 時 令和 7 年 8 月 20 日（水） ※ 副市長副町長合同研修会終了後に開催
午後 4 時 20 分～午後 5 時 20 分

会 場 中島屋グランドホテル

出席者 副知事（本部長）、35 市町副市町長、総務部次長、各財務事務所長等

【会議開催の趣旨】

- ・ 令和 6 年度の個人市町村民税に係る収入率の目標の達成状況の確認と、重点取組事項に関する有効性の評価
- ・ 全国の収入率や県内各市町の今後の見通し等を踏まえた令和 7 年度以降の数値目標の設定と、これを達成するための方策の検討・決定

会議次第

1 令和 6 年度 of 取組状況

- ・ **個人市町村民税の収入率は 97.94%**（前年比+0.02%）
定額減税の影響等を受け、数値目標（98.0%）は未達成
- ・ **全国順位は 12 位**（前年度から 2 つ上昇）
- ・ **全国第 10 位との差は 0.09 ポイント**（全国第 10 位：山梨県 98.03%）

2 令和 6 年度 of 重点取組事項の状況

- ・ 現年分の滞納整理の早期着手、滞納繰越分滞納の計画的・集中的な処理等の重点取組事項に取り組んだ結果、現年課税分の収入率は増加
差押件数は高水準を保ったほか、執行停止も着実に推進
- ・ 県は、職員の身分併任による市町間、県・市町間の連携促進に努め、県職員の短期派遣により市町の収入率向上に貢献

3 令和 7 年度以降の取組

- ・ 令和 6 年度の数値目標は達成できなかったが、その主要因となった定額減税の影響は令和 7 年度は極めて限定的となることから、数値目標は下方修正することなく維持。
- ・ 定額減税の影響の縮小や個人の所得額の増等が要因となり、令和 7 年度は、現年分の調定額の増加が見込まれるため、現年分の滞納整理の早期着手に注力すること等を重点取組事項に設定。（基本的には令和 6 年度に設定した重点取組事項を踏襲）

4 税務職員表彰について

- ・ 税務職員のモチベーション向上のため、静岡市副市長の提案により平成 30 年度に制度創設。
- ・ 本部会議当日、副知事（本部長）から受賞者に表彰状を授与。

○個人表彰

- ・ 4 つの部門において、10 人の税務職員を表彰

○機関表彰（団体表彰）

- ・ 森町（R5 収入率県内最上位）※ 2 年連続
- ・ 東伊豆町（収入率の対前年伸び幅県内最上位）